

事前質問等 一覧

	委員からの質問等				対応等
	質問者	ページ番号	該当箇所	内容	
1	岡松委員	—	複数	地区社会福祉協議会の表記を地区(校区)社会福祉協議会と修正いただきたい	ご指摘のとおり修正しています。
2	白瀧委員	P53	注釈4 特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとしたりするなどの一方的な内容の言動。	説明がしっくりこない。 「内閣府人権擁護に関する世論調査(H29.10)」に記載されている文章なので良いのだろうが、何となく違和感がある。	法務省HPにも「ヘイトスピーチとは？」の中で、本注釈の記載(内閣府人権擁護に関する世論調査(H29.10)より)がされています。
3	白瀧委員	P54,57,58,59,60,63,65,67,68,71,73,76,77,80,82,83,86,87,89	■行政の取り組み(公助)	所管課(担当課)が明記されていない。 他の計画プランでは、担当課が具体的な取り組みを(全庁での取り組み)、(各課の施策)等で記載されているが、地域福祉計画の公助取り組みの所管課がわからない。	取り組みが複数の課にまたぐことも多く、記載する情報もかなり多くなることから掲載は困難であることをご理解願います。
4	白瀧委員	P67,70	地域ネットワークの拡大	小地域福祉活動の活性化・小地域福祉活動の推進・小地域福祉活動を支援、について具体的に教えてほしい。	別紙資料のとおりです。
5	櫻木委員	—	—	今後の課題に、まちの運営にかかわる協議会について、男性女性、同比率の委員の選出をすることなど多様性を求めているかどうか。	「飯塚市審議会等の委員への女性登用推進に関する要綱」により、「審議会等の委員選任に当たっては、女性の積極的な登用に努め、女性委員を登用する場合において、女性委員の割合は40%以上を目処とする。」と定めており、市役所全課で取り組んでいます。
6	櫻木委員	P60	(4)地域福祉活動への支援 地域や関係団体の取り組み(共助)	【下線部追加の提案】 新しく福祉委員や役員になった人は、認知症サポーター養成講座やフレイル予防養成講座を受講したり、ネットワーク委員会に参加する等、情報の共有と、知識の向上に努めましょう。	ご指摘のとおり修正しています。(文章に一部変更あり)